



# 対人支援点描 (17)

「心理面接の枠組み個人的再考」

小林 茂 (臨床心理士/牧師)

はじめに.

精神科クリニックで心理面接を行うようになって、体調不良や金欠により具合が悪くなったり、デイケアの人間関係に中てられてクリニックに来れないという患者と向き合う割合が増えた。当日、キャンセルになったりすると時間に空きができてしまう。こうした状況で、時間で働く身としては大変肩身が狭くなる。決して裕福ではないクリニックの台所事情を思うと、自分が穀潰し(ごくつぶし)にでもなった気がしてつらくなる。

自分の面接構造の枠作りが甘いのかと反省するが、迷いが生じている。心理面接が有料であるならば、こういうキャンセルは少なくなるのだろうか? 他で働く心理士らは、キャンセルに対して、どのように対処・対策しているものか、知りたい気がする。

今回は、自分自身の自己点検を兼ねて、再度、面接のキャンセルを中心に課題を考察したい。

## 1. これまでの面接

現在のクリニックに外勤するようにな

ったのは、前職場を退職する前後に、以前からお付き合いのあったクリニックの事務長(看護師)からお誘いを受けたことによる。その誘われた理由としては、クリニックにトラウマを訴える患者が多くいて困っているため関わってほしい、ということであった。

折しも、テレビでトラウマ治療が話題になったことがあったためか、EMDRが注目されていた。そんなこともあり、筆者が一応EMDRのパート1、パート2トレーニングを受けていたことから声をかけられたと思われる。

## 2. トラウマ治療の取り組み

個人面接を受け持ち始めトラウマへの介入を行うようになったのだが、患者の期待効果もあり順調であったといえる。EMDRに加えTFTを併用して取り組んでいた。

けれども、医師やソーシャルワーカーに紹介された患者は、必ずしもトラウマによる苦勞を抱えた方ばかりではなかった。

これはある程度、仕方ないことであると

いえる。人は多かれ少なかれトラウマを抱えて生きている。トラウマのない人間はいないといえる。また、しみじみ思うことだが、病の苦勞からの回復を願っている。それゆえに病の原因を探し求める。原因論に人が傾くのは仕方がない。原因を退治できれば病から回復し、人生のリカバリーが可能になるのではないかという期待がある。切望といっても良い。それだけに、当人が自分の苦勞の原因をトラウマに見立てることだって起こる。こうした場合でも、ある程度まで対応してきた。

しかし、トラウマへの介入以前に、手前のところで躓いてしまうことが継続面接として残るようになってしまった。

介入前に行う「安全な場所」などが構築できず、不安が強く成立しないような方々である。

他に、トラウマの問題に愛着の課題があり、関係が安定しない方々もあった。

そして、愛着の問題ともいえるかもしれないが、絆（ボンド）に餓えている方々が増えたことがある。ふりかえれば、ある時期から変化が起こっていたのかもしれない。デイケアで筆者に個人面接を受ければトラウマ治療を受けられるという話が伝播した。そのことがあり、診察時にトラウマが語られ、リファアされてくるということが増えたのである。多くは、言葉ではトラウマを語り、つらさを語るが、深まることなく、個別の時間を求めてくる人たちである。悪気はないのだろうが、課題を乗り越えるための面接を求めるよりも、面接自体が目的になってしまう傾向にある。

そして、いつの間にか限られた自分の

面接の時間枠で終結できないケースが残るようになり、面接が断続的にキャンセルする機会が増えることになった。

EMDR の標準的な面接時間が 90 分とされていることもあり、そのつもりで時間枠を作らせていただいているので、標準の心理面接 2 回分の空白ができてしまうのである。急遽、他の方の面接できませんと言って、手当てがつかうわけではないだけに身の置き場がなくなることになるのである。

### おわりに

クリニックの心理面接は、診察を經由して依頼が来る。職務として、医師からの指示もあれば、また患者を選び好みすべきことではない。

しかし、現状のままでは見通しの持てない面接を保持したまま、断続的に続くキャンセルや引きこもりや入院による中断と再開にあわせていくことになる。クリニックとしても、自分にかかる経費を負担させるといふ心苦しさもある。

解決のために、より入り口で自分のアセスメントの力を養って枠づける必要を覚える。また、技法の習熟や手数を増やすなど面接の力をつけて自らの対処能力の向上に励む、ということが言えるのだろう。

だが、自助で進まないこともある。どことなく治療構造自体に問題を感じている。この課題については、他の同業諸氏の経験をたどりつつ、継続して考えていきたい課題となっている。